

福岡県地域文化功労者表彰 受賞者

うだがわ のりと
宇田川 宣人 (福岡市東区/九産大名誉教授(元学長)、アジア美術家連盟日本委員会代表、福岡県文化団体連合会理事長 ほか)

〔功績概要〕

東京藝術大学大学院在学中に初の個展を開催し、画家の道に入って以降、国内外で個展を開催する。国際青年美術家展入選を含む多くの賞を受賞するなど、活発な創作活動を続けるほか、海外においても、アジア国際美術展などに出品し、その作品は国内外で高い評価を受けている。

昭和46年からは、九州産業大学にて、芸術学部教授として長きにわたり後進の指導育成に努め、美術学科主任や芸術学部長、大学長を歴任。また、アジア美術家連盟日本委員会代表、福岡県文化団体連合会理事長など多くの文化関連団体の要職を務めるなど、本県の文化振興に大きく貢献。

えとう きよ
江藤 紀世 (遠賀郡岡垣町/(公財)福岡県美術協会元理事、西日本画連盟会長 ほか)

〔功績概要〕

日本画家として、院展をはじめ全国規模の展覧会にも出品し、数多くの賞を受賞。

平成9年度以降、公益社団法人福岡県美術協会の会員として、福岡県を中心とした美術の普及・振興に尽力し、各部門にわたる美術家の相互研鑽を図ることに寄与。特に、平成27年から令和3年までは、同協会の理事を務めるなど、県内の美術文化全般の発展に寄与。平成9年から北九州市内のカルチャーセンター及び市民センター5か所で日本画を指導。計105名の受講生を指導、現在も57名在籍。その中から福岡県展会員7名、西日本画連盟会員14名、院展院友及び研究会員4名を輩出し、共に次世代を担いながら活躍している。

じんせいし こうろ
人生史サークル黄櫨の会 (八女市)

〔功績概要〕

平成9年度の創設以降、会員に人生史について寄稿してもらい、年三回、同人誌「黄櫨」を出版する事業や地元の直木賞作家などを招いた文化セミナーを27年間継続して実施し、執筆・出版文化の普及に尽力。

平成17年には、郷土関係の出版物、自分史・戦争体験記などの自費出版物及び貴重な記録資料の数々を収集、展示することのできる自分史図書館を筑後市に開館するなど、本県の地域文化の振興に貢献。

このマークは、目が不自由な
人などが使う音声コードです。

